

特別支援教育だより 6月号

令和4年6月24日発行

# こころのお便り

杉並区立高井戸第四小学校

校長 加納 直樹

指導教諭 早川 宏（たかし教室担任）

## 1. 高井戸第四小学校の特別支援教育

### 一人一人が違う「世界に一つだけの大切な存在」



- 子供たちは一人一人が、性格、興味関心、好きなもの、きらいなもの、得意や不得意、感じ方、学び方、成長の仕方など、違ったものをもっています。誰一人として同じ人がいない「世界に一つだけの大切な存在」です。
- そして、大人になるまでの長い道のりで、様々な環境や、いろいろな人との出会いや関わりの中で、子供たちはうまくいったりいかなかったりを繰り返します。これも一人一人が違います。だから、「他の子ができているのに、うちの子はできない」といった心配や不安も生じます。「苦手なことやできないこと、失敗は誰にでもある」と、わかってはいても、「どうしたらよいのだろう」「この先、どうなるのだろう」と、心配や不安でいっぱいになることがあるでしょう。

### 心配や不安に寄り添ってくれると、心強くなります！



- 子供たちや保護者の皆様一人一人の願い、思い、悩みに寄り添いながら、家庭、地域、学校とが力を合わせて子供たちの成長を応援していくように、ちょっとしたヒントや情報を盛り込み、特別支援教育だより『こころのお便り』を本校特別支援教育担当から月1回程度発行いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 成長の過程にある全ての子供たちにとって必要なこと

- 子供たちの成長はとても不思議です。「今は大丈夫」と思っていても、思春期でつまずくケースがあります。今はとても困っていても、やがて変化し落ち着くケースもあります。子供たちは、どのように成長するか、どのようなことでつまずくかは、複雑で予測が難しいものです。
- 子供自身が困難を自分で乗り越えたり解決できたりすることができます。しかし、困り感が長く続いたり、対応が難しくなったりして、自信や意欲を著しく失ってしまうことがあります。すると、その後の成長に大きく影響を及ぼしてしまうことがあります。
- 周囲の人たちが、ちょっとサポートを工夫したり、困りごとや悩みに寄り添ったりするだけでも、子供はやる気が高まったり、思わず成長を見せたりします。子供は成長しようとするエネルギーを内に秘めています。子供が可能性や能力、個性を大いに發揮し、自信や意欲を高めて生活や学習ができるように、家庭、地域、学校とで連携してサポートしていくことが大切です。
- また、苦手なことがあったり、悩んだりしている友達に対して、周囲の子供たちはそのことをどのように感じ、どのように関わっていくか。これも大切な特別支援教育の役割です。（裏面へ）

## 2. 夜遅くまでゲームや動画にはまっている

◎ 「子供が夜遅くまで起きていて、ゲームや動画にはまっている」「寝不足で学校でもボーッとしているようだ」「結局、宿題ができない」などの話を保護者から聞くことがあります。

◎ なぜこのようなことになるのでしょうか。いくつか原因が考えられます。

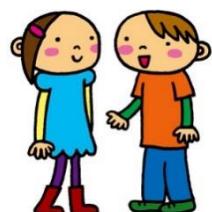
- ① もともとの特性として、「やりたいこと」と「やらなければいけないこと」の優先順位を考えることや、時間感覚に弱さをもっている。
- ② 屢々の生活（子供の場合は学校生活）に欲求不満がある、充実感がない、つまらない、ストレスがある。
- ③ 勉強や習い事など、何かとやることが多くて忙しすぎる。自分の好きなことや趣味などをやっている時間がない。



◎ ①については、もともともっている特性なので、言い聞かせやルールの取り決めではなかなか改善しません。少しずつの目標に少しずつの達成感の積み重ねで、成長を待つことになります。ただ、特性を乗り越えるような強いモチベーションがあると、一気に改善することはあります。（例　野球チームのレギュラーになりたいから、体作りで健康に気を付ける）

②、③については、子供の一日の過ごし方を振り返り、考え方直す必要があるでしょう。学校生活はどのようにになっているのか。勉強や習い事で無理はさせていないか。一日が忙しすぎないか。やりたいことができなかった、うつぶんがたまっているなど、ストレスが多いほど、何としてもやりたいことをやろうとする傾向があります。

◎ 以上、考えられる原因を3つあげましたが、子供たちは一人一人違います。これらの原因にあてはまらないかもしれないし、原因が複数絡み合っているかもしれません。また、そもそも睡眠そのものに何らかの困難さを抱えているかもしれません。気になることがございましたら、各学級担任や養護教諭などにご相談ください。



## 3. 校内の相談窓口（相談体制）

学習、生活、友達関係、情緒面など、気になることがございましたらご活用ください。

- ・各学級担任
- ・養護（横山）
- ・特別支援教育コーディネーター 田島（図工）、篠原（ことばの教室）、大日向（たかし教室）  
小濱（2年担任、低学年）、荻原（4年担任、中学年）、北島（5年担任、高学年）
- ・ことばの教室担任（吉廣、篠原、我謝）
- ・特別支援教室「たかし教室」担任（早川、山口、大日向、小岩）
- ・スクールカウンセラー（古谷）

いずれでも相談の窓口になります。秘密は厳守しますが、必要に応じて校内で連携をとり、チームでお子さんの成長のために具体的な対応に取り組みます。